

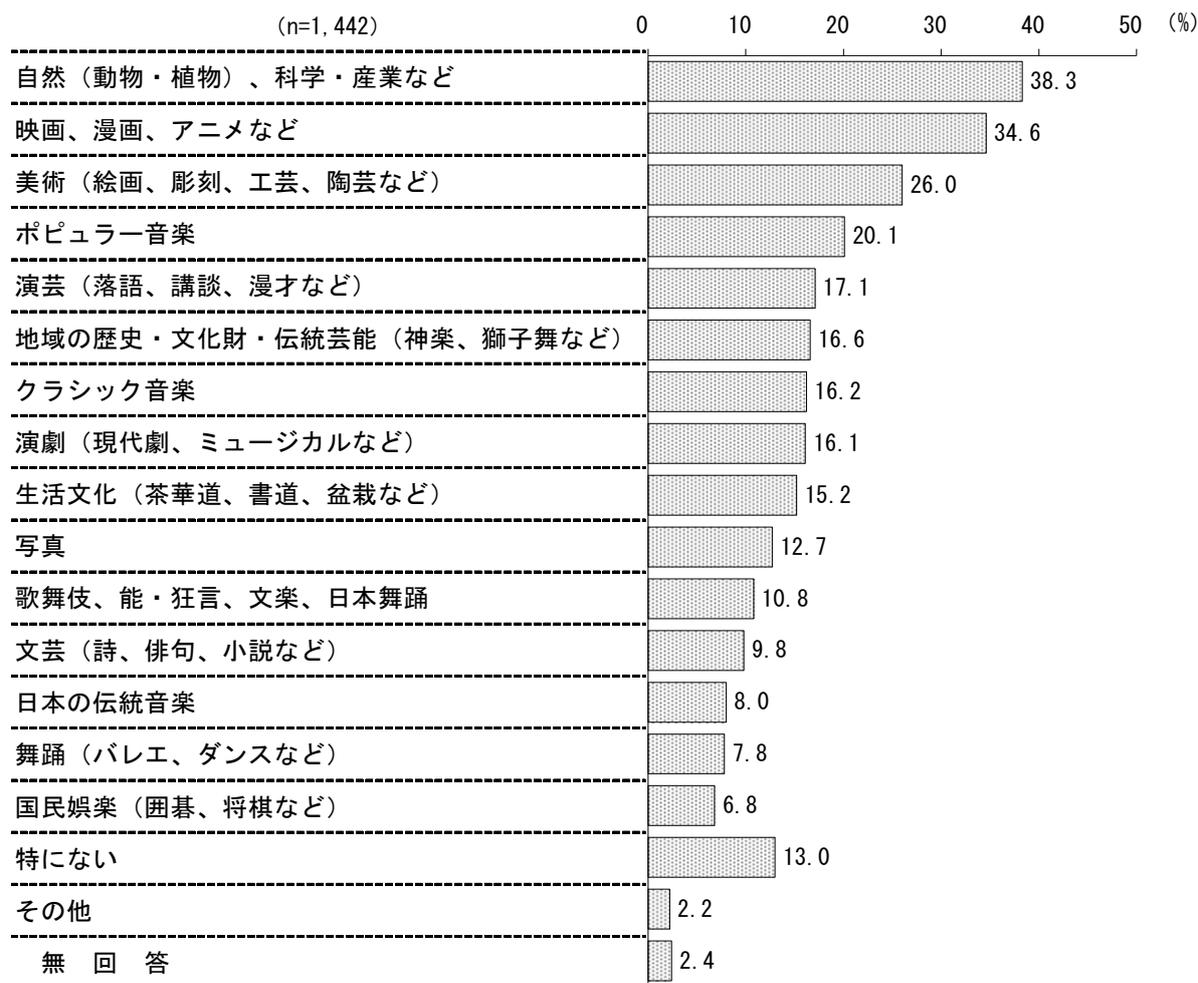
8 県民の文化芸術活動について

(1) 特に関心を持っている文化芸術

◇「自然（動物・植物）、科学・産業など」が約4割

問28 あなたが、特に関心を持っている文化芸術はありますか。(○はいくつでも)

<図表 8-1>特に関心を持っている文化芸術



特に関心を持っている文化芸術として「自然（動物・植物）、科学・産業など」（38.3%）が約4割と最も多くあげられた。以下、「映画、漫画、アニメなど」（34.6%）、「美術（絵画、彫刻、工芸、陶芸など）」（26.0%）、「ポピュラー音楽」（20.1%）となっている。

「特にない」（13.0%）は全体の1割程度となっている。（図表 8-1）

【地域別】

地域別にみると、「自然（動物・植物）、科学・産業など」は“山武地域”（48.8%）、“長生地域”（48.3%）で約5割、“君津地域”（42.9%）と“印旛地域”（41.8%）で4割を超え、「クラシック音楽」は“安房地域”（28.6%）で約3割と他の地域に比べて高くなっている。（図表8-2）

【性・年代別】

「映画、漫画、アニメなど」は、女性の20代（66.2%）、男性の20代（64.1%）で6割台半ばと特に高く、若年層で関心が高い傾向がみられる。

「美術（絵画、彫刻、工芸、陶芸など）」は、男性の50代（38.4%）で約4割、女性の60～64歳（36.4%）、50代（35.3%）で3割台半ばと高くなっている。

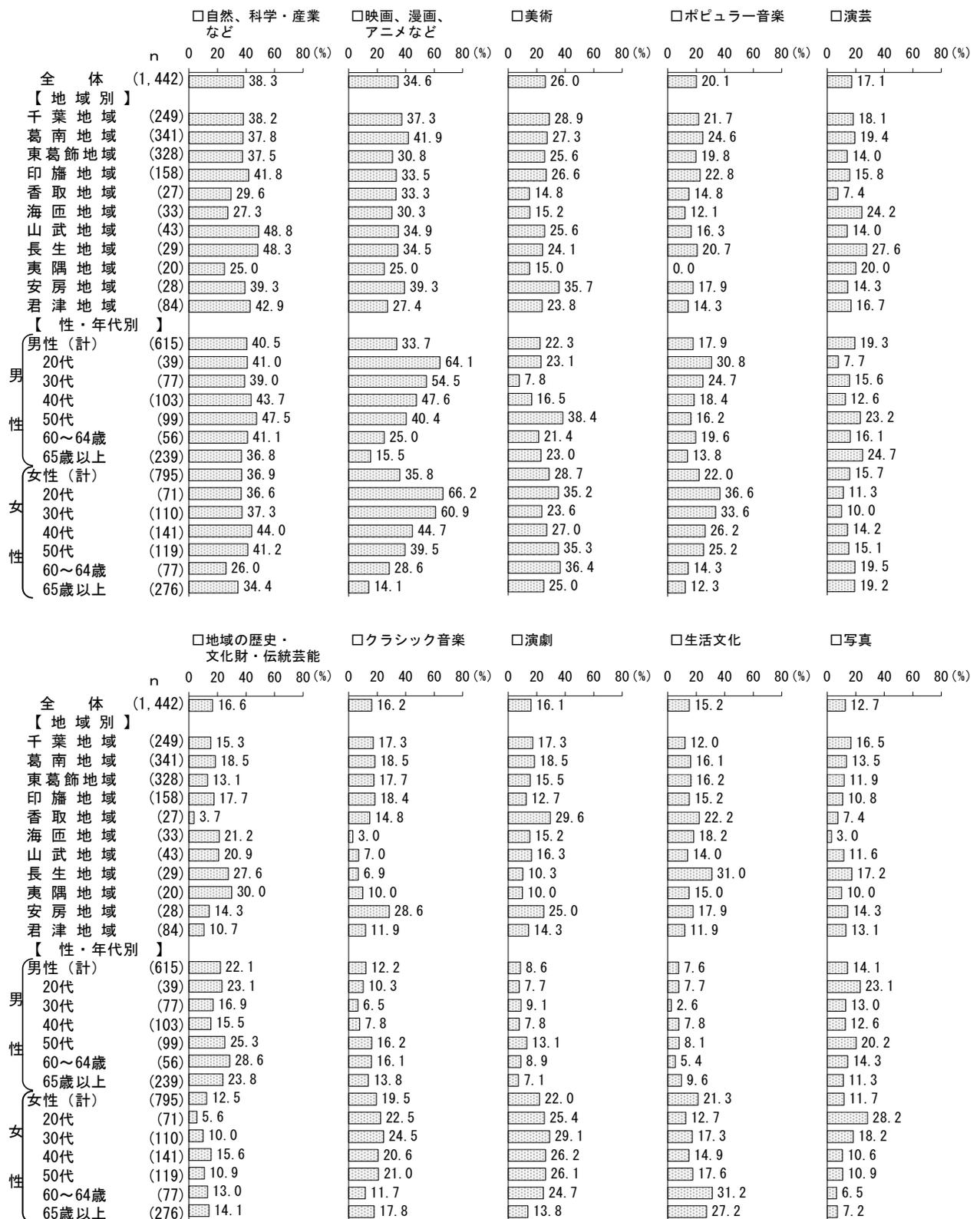
「ポピュラー音楽」は女性の20代（36.6%）、30代（33.6%）で3割台半ば、男性の20代（30.8%）も3割と特に高く、若年層で関心が高い傾向がみられる。

「演劇（現代劇、ミュージカルなど）」は、女性（22.0%）の方が男性（8.6%）より高く、女性の30代（29.1%）で約3割と特に高くなっている。

「生活文化（茶華道、書道、盆栽など）」は、女性の60～64歳（31.2%）で3割を超え、65歳以上（27.2%）で約3割と、他の年代に比べて高くなっている。

「写真」は、女性の20代（28.2%）で約3割、男性の20代（23.1%）で2割台半ば、50代（20.2%）で2割を超え、他の年代に比べて高くなっている。（図表8-2）

<図表8-2> 特に関心を持っている文化芸術／地域別、性・年代別（上位10項目）

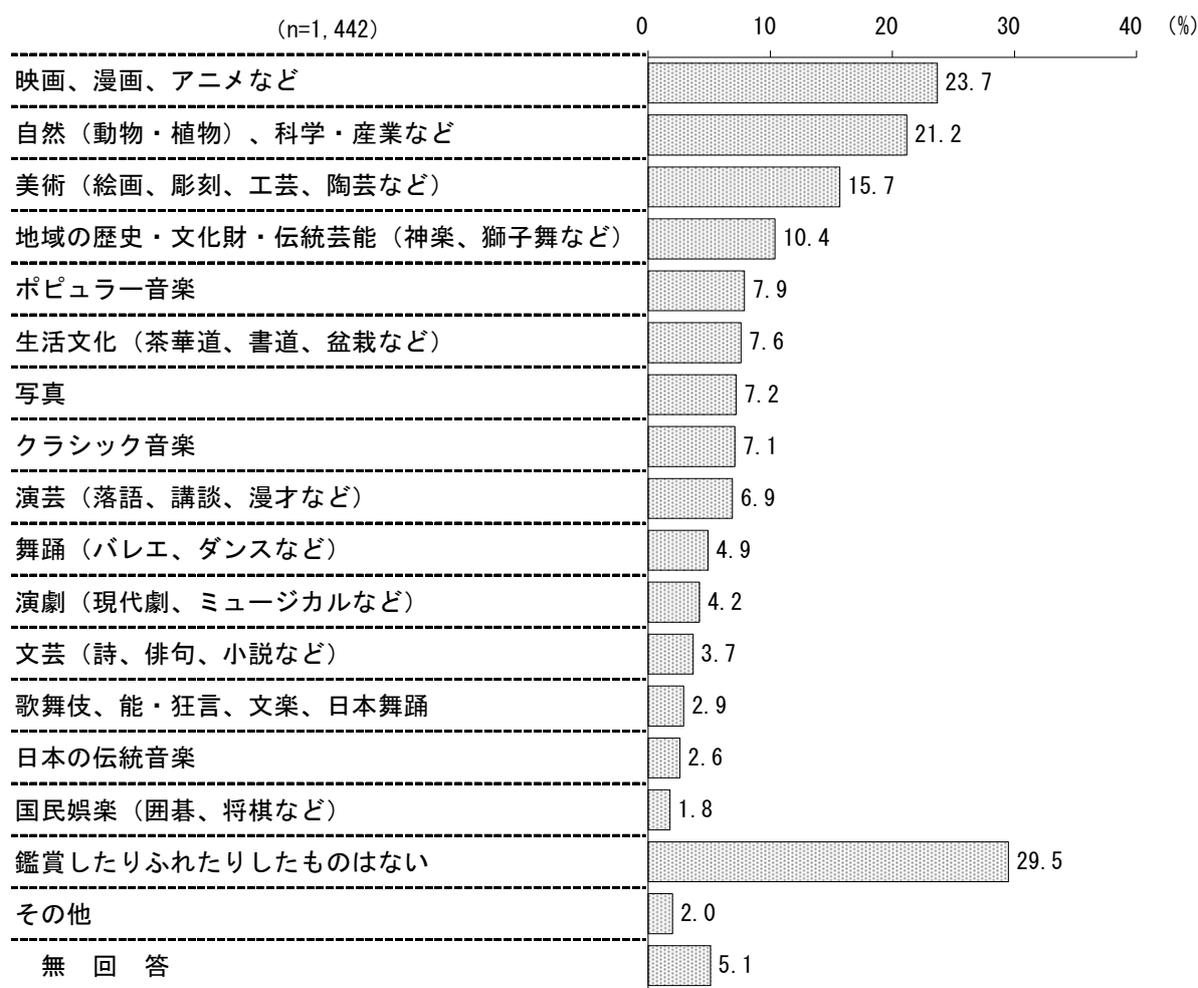


(2) この1年間に県内でふれた文化芸術

◇「映画、漫画、アニメなど」が2割台半ば

問29 この1年間にあなたが住んでいる地域や県内の文化施設などで、直接鑑賞したり、ふれたりした文化芸術はありますか。(〇はいくつでも)

<図表8-3>この1年間に県内でふれた文化芸術



この1年間に県内でふれた文化芸術では、「映画、漫画、アニメなど」(23.7%)が2割台半ばで最も多く、以下、「自然（動物・植物）、科学・産業など」(21.2%)、「美術（絵画、彫刻、工芸、陶芸など）」(15.7%)が続く。

一方、「鑑賞したりふれたりしたものはない」(29.5%)が全体の約3割となっている。(図表8-3)

【地域別】

地域別にみると、「映画、漫画、アニメなど」が“香取地域”（33.3%）で3割台半ば、“千葉地域”（29.7%）で約3割、「自然（動物・植物）、科学・産業など」が“千葉地域”（26.5%）で2割台半ばと、他の地域に比べて高くなっている。

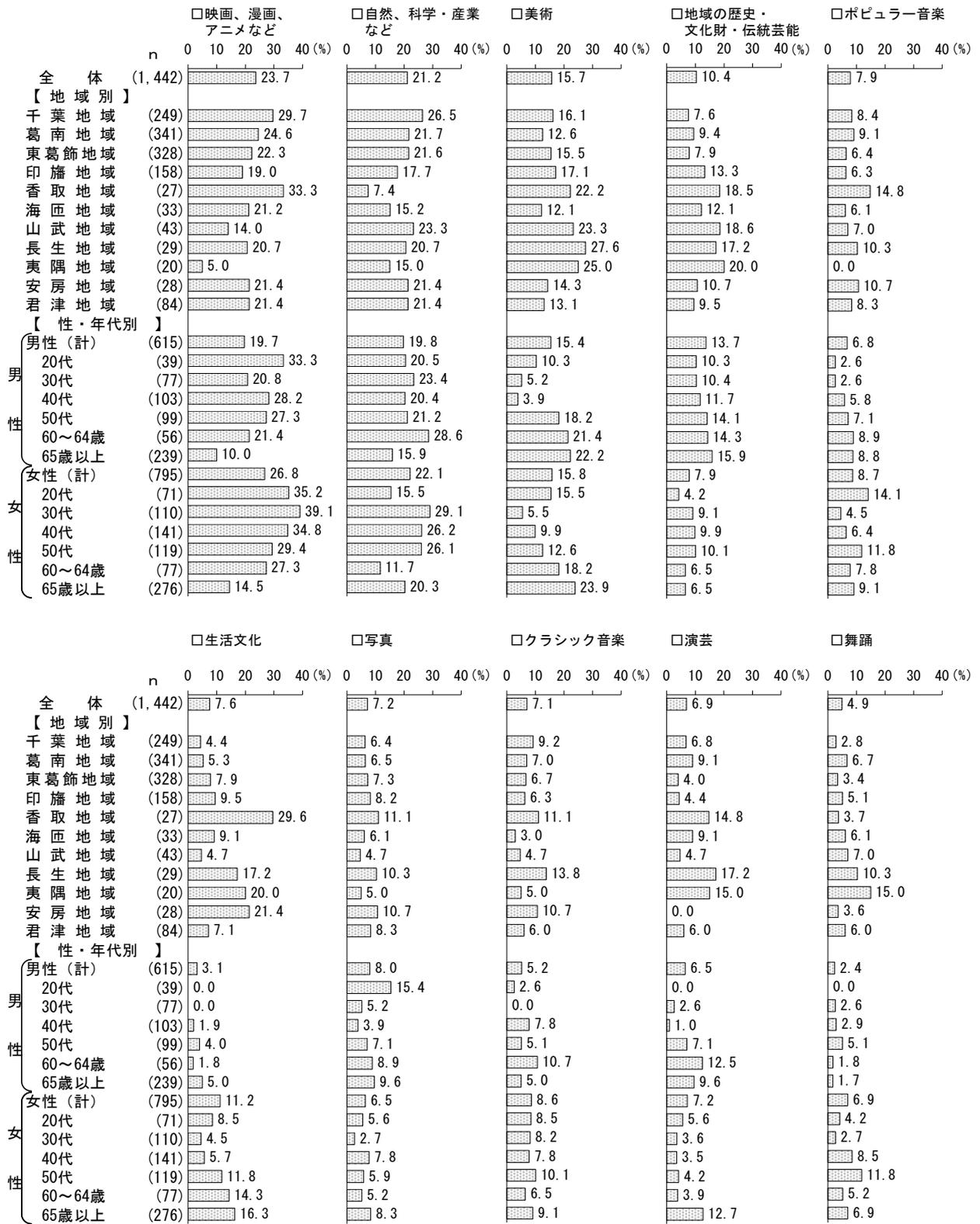
「生活文化（茶華道、書道、盆栽など）」は“香取地域”（29.6%）で約3割と、他の地域に比べて高くなっている。（図表8-4）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「映画、漫画、アニメなど」は女性の30代（39.1%）で約4割と他の年代に比べて特に高くなっている。

「自然（動物・植物）、科学・産業など」は女性の30代（29.1%）、男性の60～64歳（28.6%）で約3割と、他の年代に比べて高くなっている。（図表8-4）

<図表8-4> この1年間に県内でふれた文化芸術／地域別、性・年代別（上位10項目）

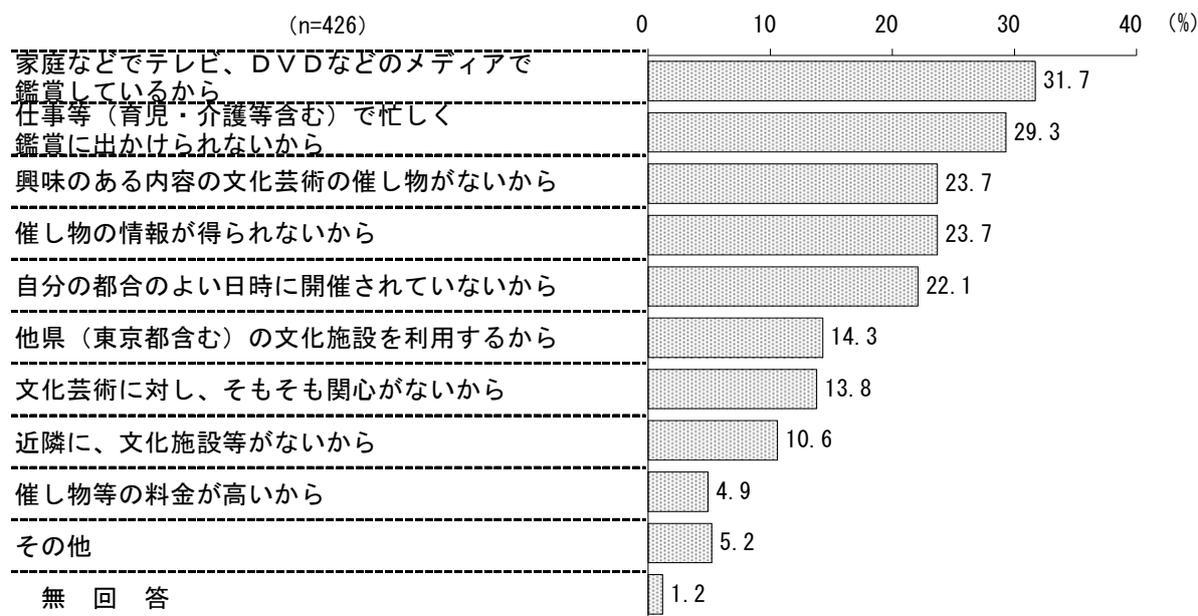


(3) この1年間に県内の文化芸術にふれなかった理由

◇「家庭などでテレビ、DVDなどのメディアで鑑賞しているから」が3割

問30 その理由は何ですか。(〇はいくつでも)

<図表8-5>この1年間に県内の文化芸術にふれなかった理由



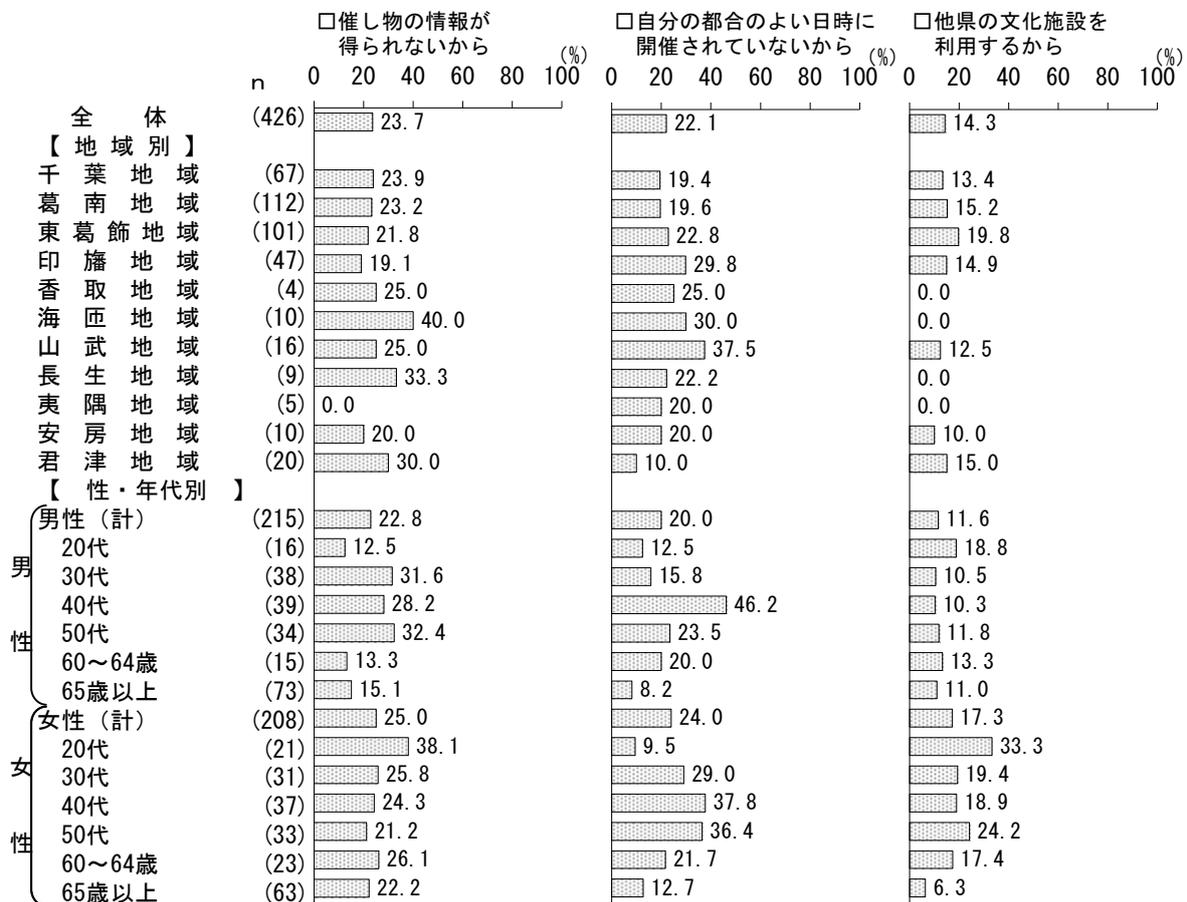
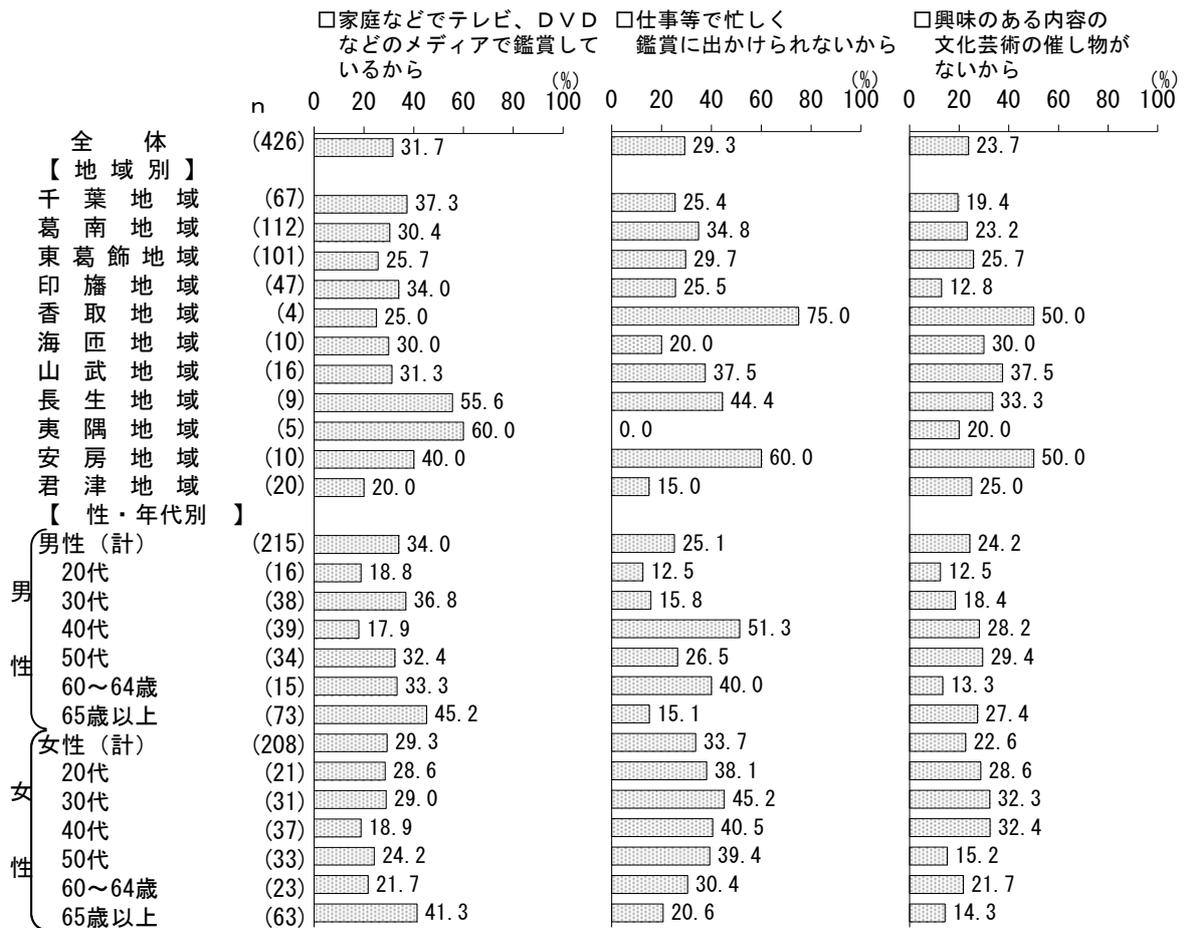
この1年間に県内で文化芸術を「鑑賞したりふれたりしたものはない」と回答した426人について、文化芸術にふれなかった理由を聞いたところ、「家庭などでテレビ、DVDなどのメディアで鑑賞しているから」が(31.7%)で3割を超えて最も多く、以下、「仕事等(育児・介護等含む)で忙しく鑑賞に出かけられないから」(29.3%)、「興味のある内容の文化芸術の催し物がないから」「催し物の情報が得られないから」(ともに23.7%)、「自分の都合のよい日時に開催されていないから」(22.1%)となっている。(図表8-5)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「家庭などでテレビ、DVDなどのメディアで鑑賞しているから」は男性の65歳以上(45.2%)で4割台半ば、女性の65歳以上(41.3%)で4割を超え、性別を問わず65歳以上が他の年代に比べて高くなっている。

「仕事等(育児・介護等含む)で忙しく鑑賞に出かけられないから」は男性の40代(51.3%)で5割を超え、「自分の都合のよい日時に開催されていないから」も男性の40代(46.2%)で4割台半ばと、他の年代に比べて高くなっている。(図表8-6)

<図表8-6> この1年間に県内の文化芸術にふれなかった理由／地域別、性・年代別（上位6項目）

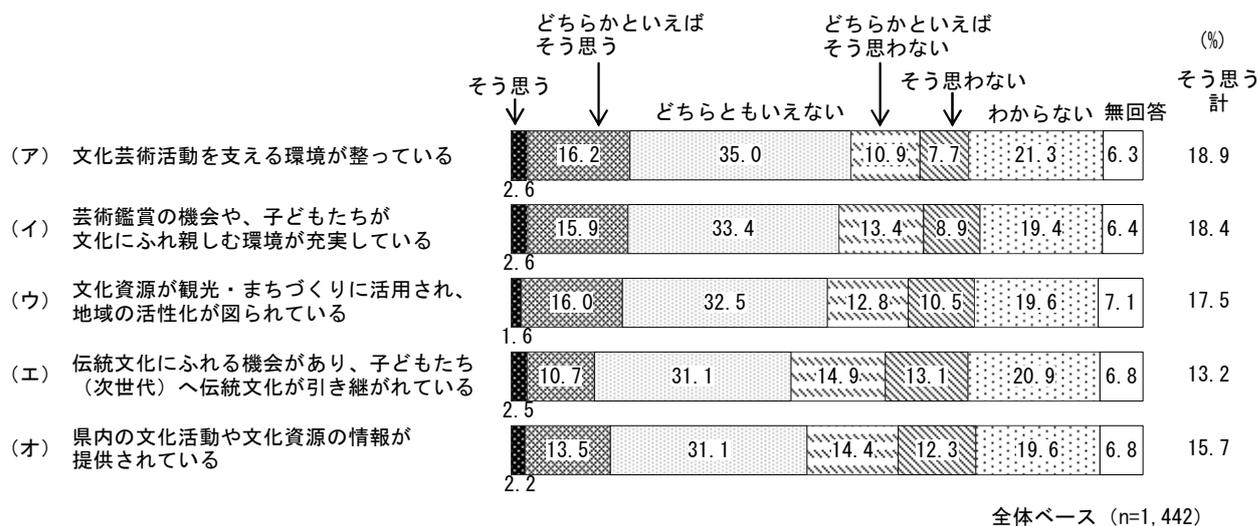


(4) 文化振興にあたっての県の取り組み評価

◇いずれの項目も「どちらともいえない」が3割

問31 あなたは、文化振興にあたっての県の取り組みに関する次の項目について、どう思いますか。
(○はそれぞれ1つずつ)

<図表8-7>文化振興にあたっての県の取り組み評価



文化振興に関する県の取り組み評価では、いずれの項目も「どちらともいえない」が3割を超えて最も多くなっている。(図表8-7)

【地域別】

地域別にみると、「芸術鑑賞の機会や、子どもたちが文化にふれ親しむ環境が充実している」は“印旛地域”(29.7%)、“安房地域”(21.4%)、“夷隅地域”(20.0%)を除く全ての地域で「どちらともいえない」が最も高くなっている。(図表8-8-2)

「文化資源が観光・まちづくりに活用され、地域の活性化が図られている」は“千葉地域”(36.1%)、“葛南地域”(35.2%)“東葛飾地域”(34.5%)で「どちらともいえない」が3割半ばとなっており、他の地域と比べて高くなっている。(図表8-8-3)

「伝統文化にふれる機会があり、子どもたち(次世代)へ伝統文化が引き継がれている」を「どちらかといえばそう思わない」(17.2%)、「そう思わない」(31.0%)を合わせた『そう思わない』が“長生地域”(48.3%)で約5割と、他の地域に比べて高くなっている。(図表8-8-4)

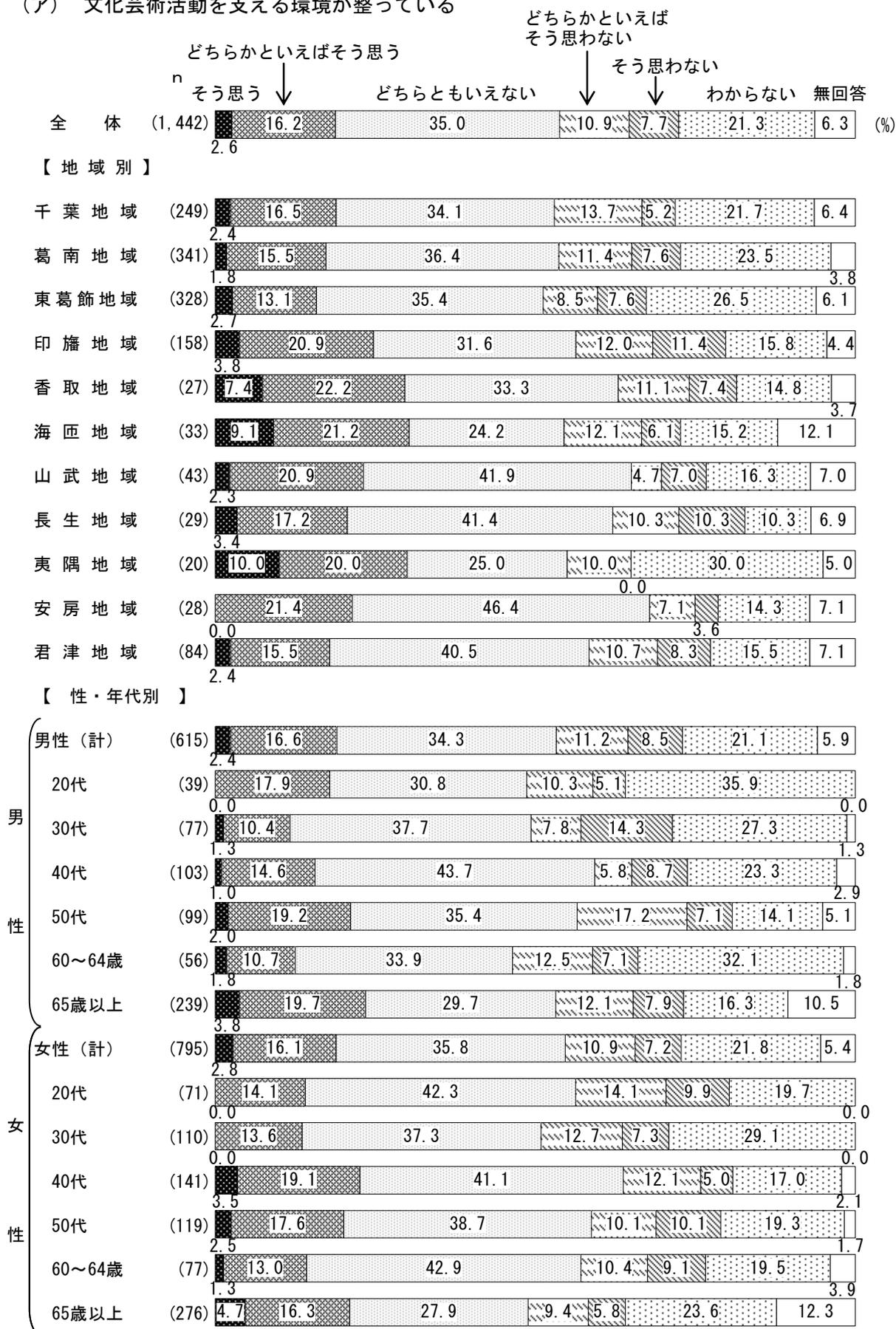
【性・年代別】

性・年代別にみると、「文化資源が観光・まちづくりに活用され、地域の活性化が図られている」は、男性の20代(20.5%)、60~64歳(30.4%)を除く全ての性・年代で「どちらともいえない」が最も高くなっている。(図表8-8-3)

「県内の文化活動や文化資源の情報が提供されている」を『そう思わない』が男性の30代(42.9%)、で4割を超え、他の年代に比べて高くなっているが、女性では全世代で「どちらともいえない」が最も高くなっている。(図表8-8-5)

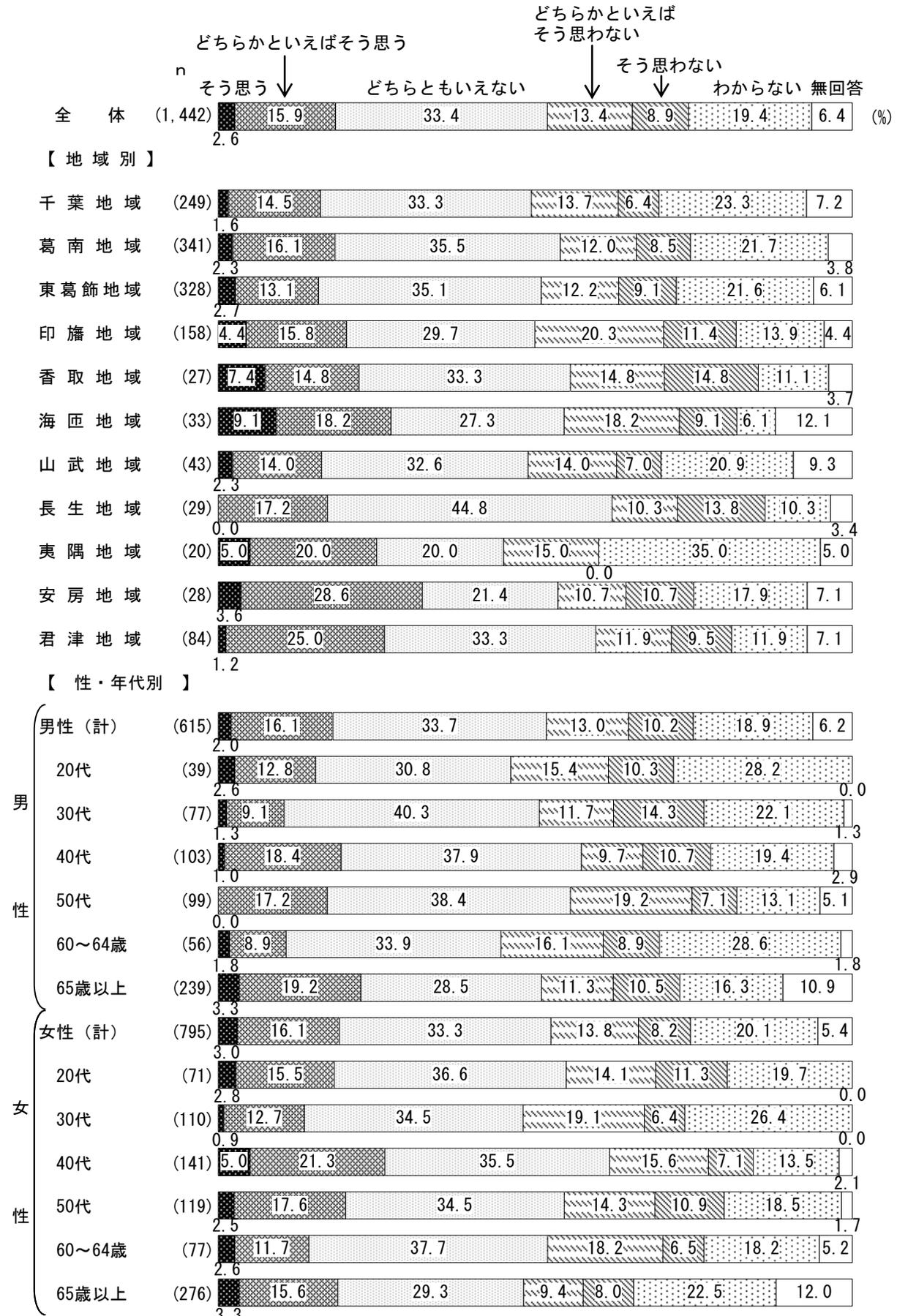
<図表8-8-1>文化振興にあたっての県の取り組み評価/地域別、性・年代別

(ア) 文化芸術活動を支える環境が整っている



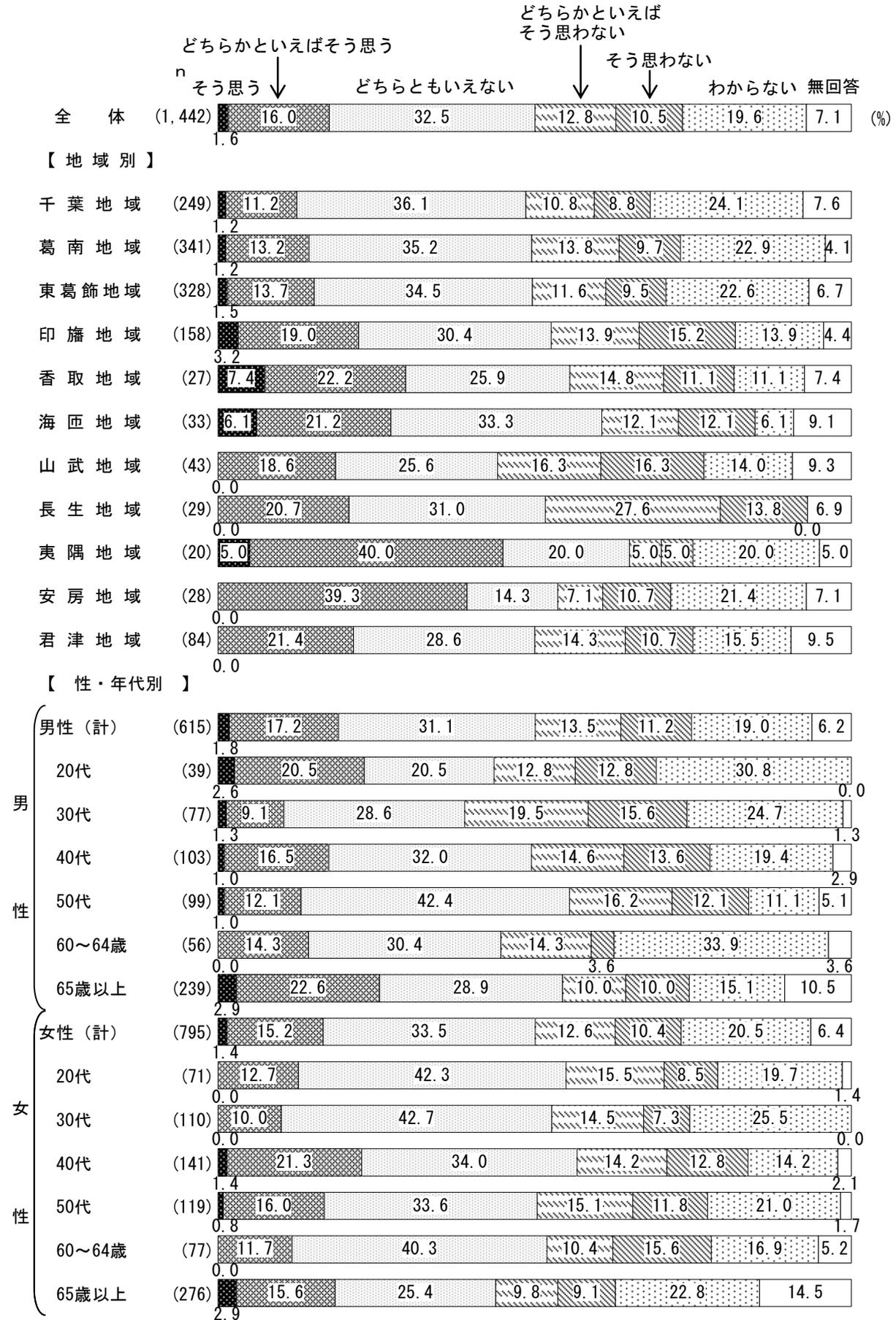
<図表8-8-2>文化振興にあたっての県の取り組み評価/地域別、性・年代別

(イ) 芸術鑑賞の機会や、子どもたちが文化にふれ親しむ環境が充実している



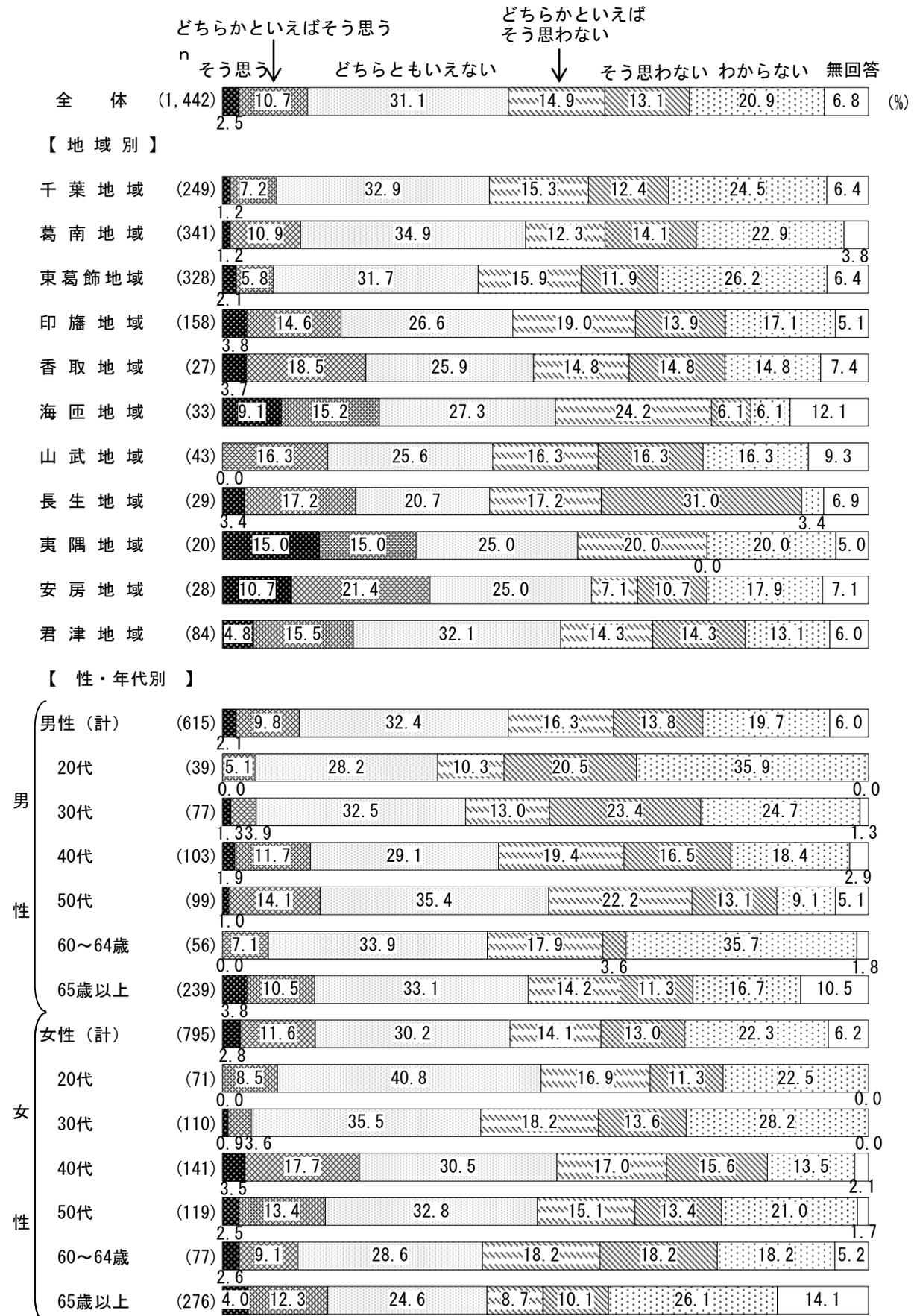
<図表8-8-3>文化振興にあたっての県の取り組み評価／地域別、性・年代別

(ウ) 文化資源が観光・まちづくりに活用され、地域の活性化が図られている



<図表8-8-4>文化振興にあたっての県の取り組み評価/地域別、性・年代別

(エ) 伝統文化にふれる機会があり、子どもたち(次世代)へ伝統文化が引き継がれている

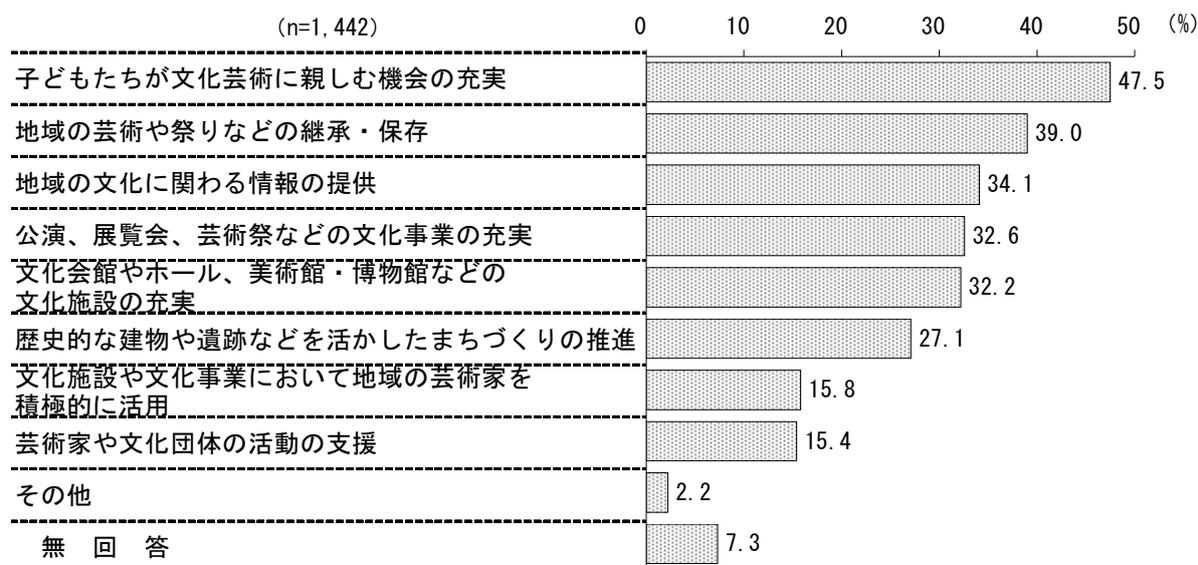


(5) 地域の文化的環境に必要なこと

◇「子どもたちが文化芸術に親しむ機会の充実」が約5割

問32 あなたは、あなたが住んでいる地域の文化的環境を満足できるものとするために、何が重要だと思いますか。(〇はいくつでも)

<図表8-9>地域の文化的環境に必要なこと



地域の文化的環境を満足できるものとするために必要なこととして、「子どもたちが文化芸術に親しむ機会の充実」(47.5%)が約5割と最も多くあげられ、以下、「地域の芸術や祭りなどの継承・保存」(39.0%)、「地域の文化に関わる情報の提供」(34.1%)、「公演、展覧会、芸術祭などの文化事業の充実」(32.6%)、「文化会館やホール、美術館・博物館などの文化施設の充実」(32.2%)となっている。(図表8-9)

【地域別】

地域別にみると、「子どもたちが文化芸術に親しむ機会の充実」が“香取地域”(66.7%)で6割台半ば、「地域の芸術や祭りなどの継承・保存」が“夷隅地域”(85.0%)で8割台半ばで、他の地域に比べて高くなっている。(図表8-10)

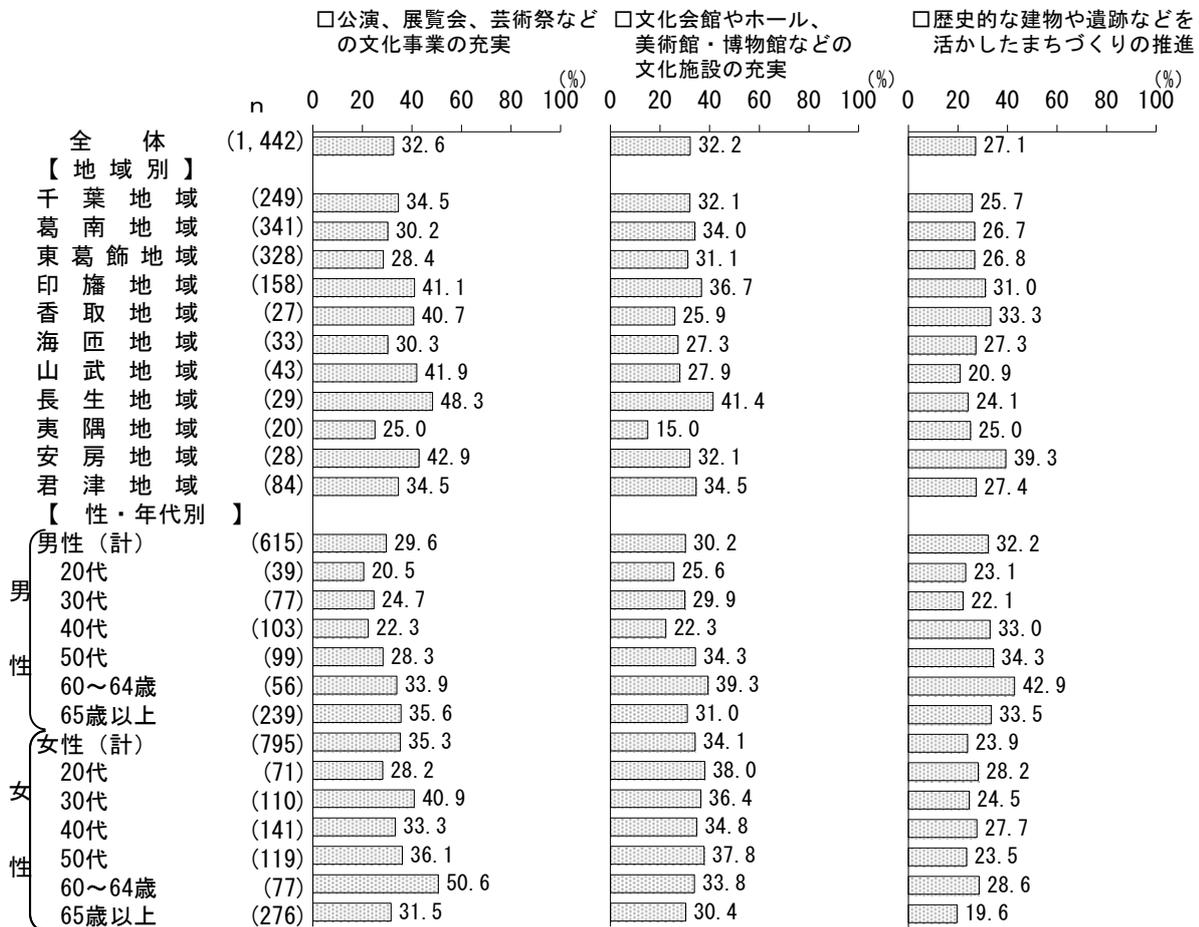
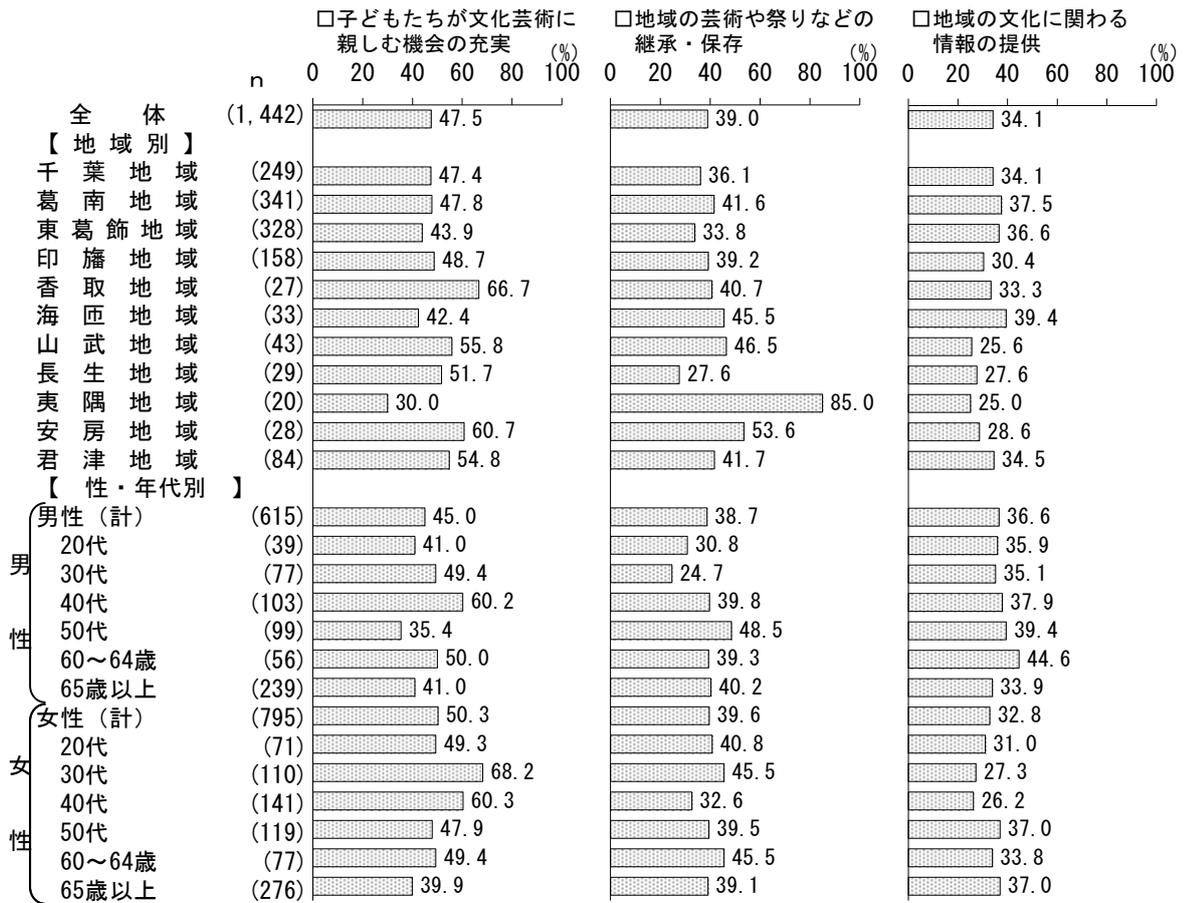
【性・年代別】

性・年代別にみると、「子どもたちが文化芸術に親しむ機会の充実」が女性の30代(68.2%)で約7割、40代(60.3%)、男性の40代(60.2%)で6割と、他の年代に比べて高くなっている。

「地域の芸術や祭りなどの継承・保存」は、男性の50代(48.5%)で約5割と、他の年代に比べて高くなっている。

「公演、展覧会、芸術祭などの文化事業の充実」は、女性の60～64歳(50.6%)で5割と、「歴史的な建物や遺跡などを活かしたまちづくりの推進」は、男性の60～64歳(42.9%)で4割を超えており、他の年代に比べて高くなっている。(図表8-10)

<図表8-10>地域の文化的環境に必要なこと／地域別、性・年代別

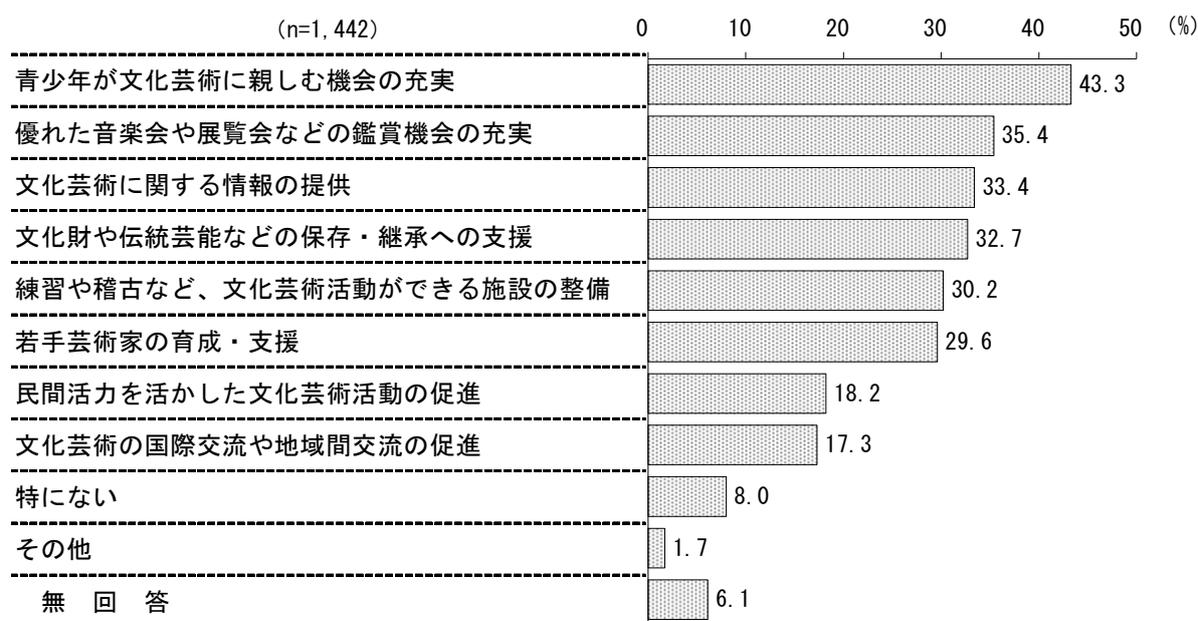


(6) 文化芸術を振興するために県が果たす役割

◇「青少年が文化芸術に親しむ機会の充実」が4割

問33 あなたは、千葉県の文化芸術を振興するために、県が果たす役割はどのようなことだと思いますか。(〇はいくつでも)

<図表8-11>文化芸術を振興するために県が果たす役割



文化芸術を振興するために県が果たす役割として、「青少年が文化芸術に親しむ機会の充実」(43.3%)が4割台半ばと最も高く、以下、「優れた音楽会や展覧会などの鑑賞機会の充実」(35.4%)、「文化芸術に関する情報の提供」(33.4%)、「文化財や伝統芸能などの保存・継承への支援」(32.7%)となっている。(図表8-11)

【地域別】

地域別にみると、「青少年が文化芸術に親しむ機会の充実」は“長生地域”(62.1%)、“安房地域”(60.7%)で6割以上、“印旛地域”(51.3%)で5割を超え、他の地域に比べて高くなっている。

「文化財や伝統芸能などの保存・継承への支援」は“山武地域”(51.2%)で5割を超え、“夷隅地域”(50.0%)で5割と、他の地域に比べて高くなっている。(図表8-12)

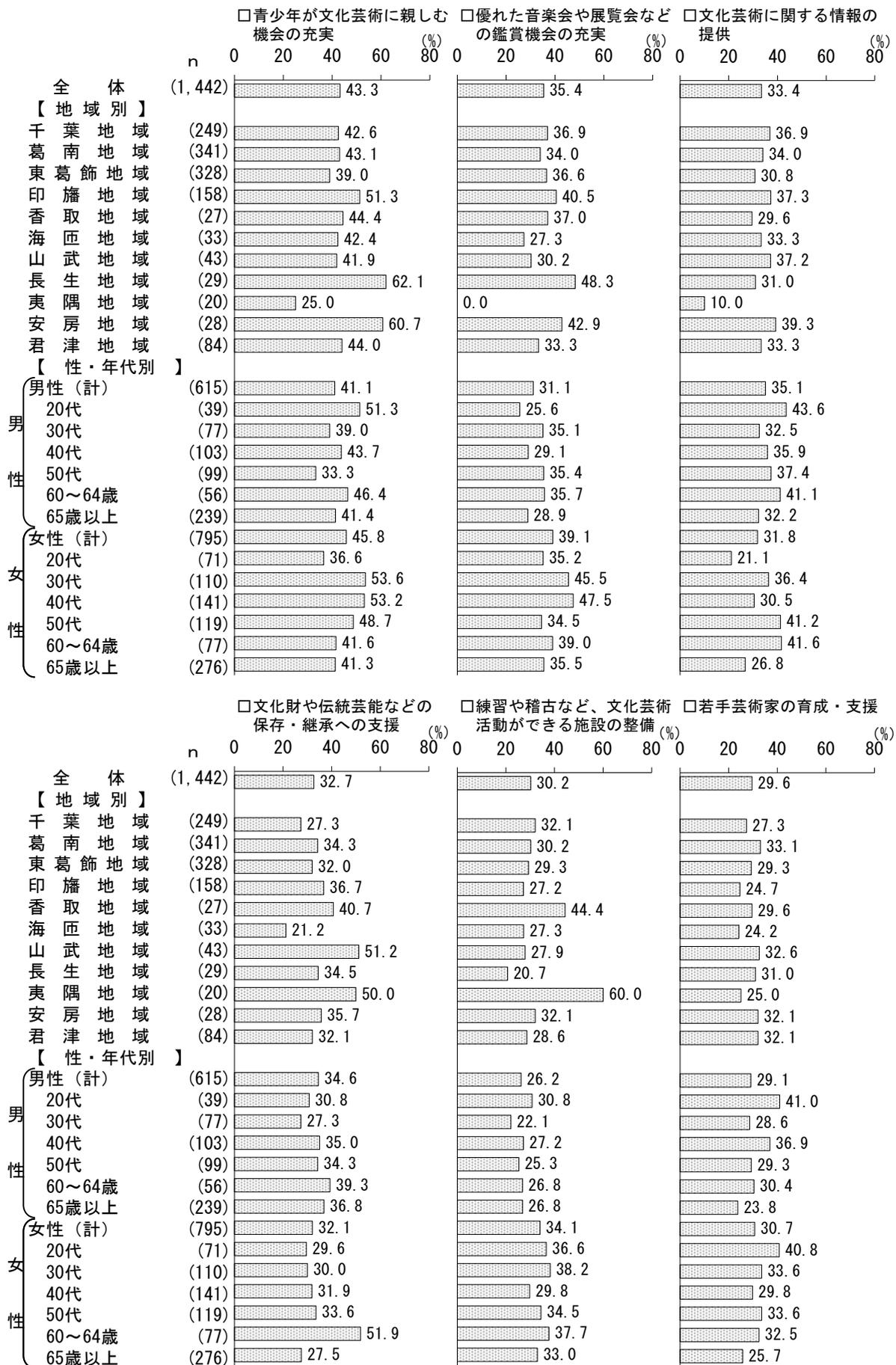
【性・年代別】

性・年代別にみると、「青少年が文化芸術に親しむ機会の充実」は女性の30代(53.6%)、40代(53.2%)、男性の20代(51.3%)で5割を超え、他の年代に比べて高くなっている。

「優れた音楽会や展覧会などの鑑賞機会の充実」でも、女性の40代(47.5%)で約5割、30代(45.5%)で4割台半ばと、他の年代に比べて高くなっている。

「文化財や伝統芸能などの保存・継承への支援」は、女性の60～64歳(51.9%)で5割を超えて、他の年代に比べて高くなっている。(図表8-12)

<図表8-12>文化芸術を振興するために県が果たす役割／地域別、性・年代別（上位6項目）



このほかに、「県民の文化芸術活動について」やここまでの質問（問28～問33）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、89人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

■「県民の文化芸術活動について」の自由回答（抜粋）

- 千葉県でも伝統芸能が沢山あると思います。地元でやっている伝統芸能をもっと県で取り入れて新聞、報道等で大きく取り入れられてもっと千葉を知ってもらおうと楽しい県になると思います。（女性、40代、海匝地域）
- 自分の興味のあるものは、聞いて、見て、さわって…やってみたい…と思います。ぜひそんな機会があったら…と思います。（男性、65歳以上、君津地域）
- 若者が文化の継承者となれるよう、触れる機会を増やすと同時に、民間で歴史的な文化芸術活動に取り組もうとする主体には、予算や課税などで優遇できるような仕組みを考えていけないものかと思う。（女性、50代、君津地域）
- 小学生のうちから多様な文化芸術に触れる機会を増やして欲しい。また、高齢者なども安く近くで楽しめる催しを増やし、情報に触れやすくして欲しい。（女性、30代、葛南地域）
- 広報などで発信されていると思うが発信力が足りないと思われる。チラシやポスターを充実させた方が良く思う。（男性、50代、東葛飾地域）
- 市によって差があるとは思いますが、もう少し市全体が芸術に興味を持てるように取り組むべきだと思う。また、地元の芸術家を支援する事で、市民も応援しようという気持ち生まれ、活気づくと思う。（女性、30代、千葉地域）
- 地域の歴史と伝統を大切に文化（郷土）を活かした活動が大切だ。それが地域活性化につながる。（男性、65歳以上、葛南地域）
- 地域への愛着心こそが街づくりの原動力だと考える。そのため、若者が地域への愛着を感じる「体験」の充実を希望する。（女性、20代、夷隅地域）
- つい東京都内に目が行ってしまいますので、千葉県は「これ」というのを育成してほしいです。（男性、60～64歳、東葛飾地域）
- 若い世代が文化芸術にふれる機会づくりに力を入れていただきたいです。（男性、40代、東葛飾地域）